



## 今月のテーマ 離床センサー(ベッドセンサー)の KYT

KYT(危険・予知・トレーニング)は、スタッフの危険予知、対応能力を高める目的で取り入れられる手法です。それぞれのシーンでどんな危険があり(予測)、どんな対策が必要かぜひ考えてみてください。

### ベッドセンサー ベッドからの起き上がりを検知します。



#### 設置方法 マットレスに敷いてシーツを被せるだけ!

マットレスの上にベッドセンサーを設置し、シーツを被せて使用します。ベッドパッドを敷いても大丈夫です。



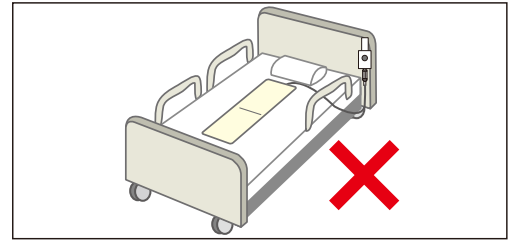
ベッドセンサー ベッドパッド



肩甲骨の下側に設置 シーツ

#### case 1

転倒リスクがある患者にベッドセンサーを設置しました。どんな危険がありますか？

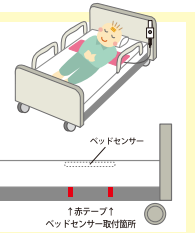


設置場所の間違いによりベッドセンサーの作動タイミングが遅れる。

(ベッドセンサーは荷重がなくなることで作動します)

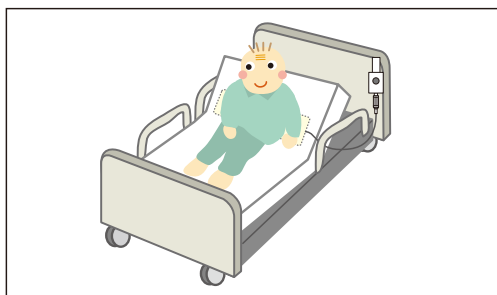
#### 対策

ベッドセンサーは横向き肩甲骨の下側に設置します。フレームにビニールテープなどで印をつけベッドセンサーの設置個所をスタッフ間で共有する方法がおすすめです。



#### case 2

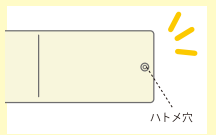
患者は日中ギャジアップし半座位で過ごしています。どんな危険がありますか？



センサーが作動しない。また、ギャジアップにより、ベッドセンサーが腰あたりまでずれてしまい、ギャジダウンで使用時に、誤報の恐れがある。

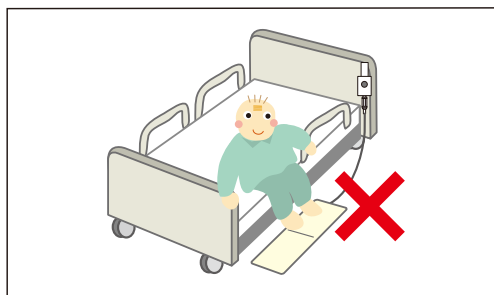
#### 対策

ハトメ穴を利用し紐で固定。ズレを防止します。



#### case 3

ベッドセンサーを床に敷いて使いました。どんな危険がありますか？



検知タイミングが遅くなる。(ベッドセンサーは荷重がなくなることで作動する)センサー故障に繋がる。

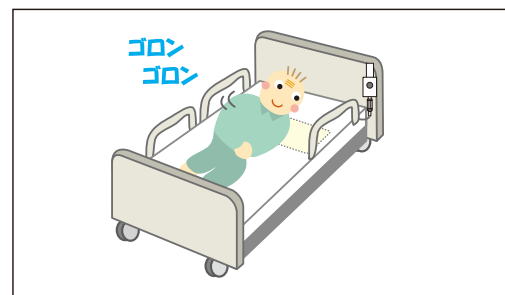
#### 対策

ベッドセンサーはマットレス上に横向きで肩甲骨の下側に設置し、起き上がり動作を検知します。



#### case 4

体動が多い患者にベッドセンサーを設置。どんなことに気を付けるべきですか？



激しい動きによってベッドセンサーがずれていないか確認する。ナースコールの頻回報知に気を付ける。

#### 対策

体動による頻回報知には動作遅延時間設定を使用してください。



動作遅延時間 起き上がり 0.5・1.5・3秒



## 〈 離床センサー(ベッドセンサー)の KYT 〉

### ベッドセンサー ベッドからの起き上がりを検知します。



旧タイプ

#### 設置方法 マットレスに敷いてシーツを被せるだけ!

マットレスの上にベッドセンサーを設置し、シーツを被せて使用します。ベッドパッドを敷いても大丈夫です。



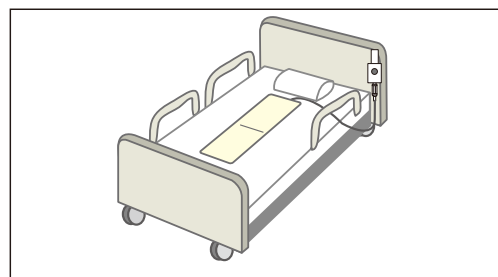
ベッドセンサー ベッドパッド



肩甲骨の下側に設置 シーツ

### case 1

転倒リスクがある患者に  
ベッドセンサーを設置しました。  
どんな危険がありますか？

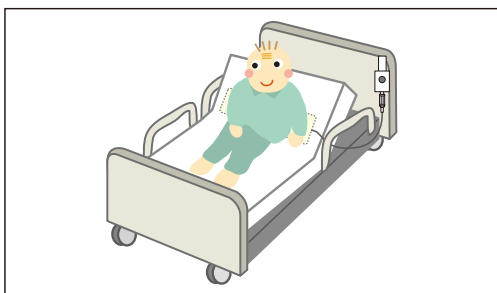


.....  
.....  
.....

対策

### case 2

患者は日中ギャジアップし  
半座位で過ごしています。  
どんな危険がありますか？

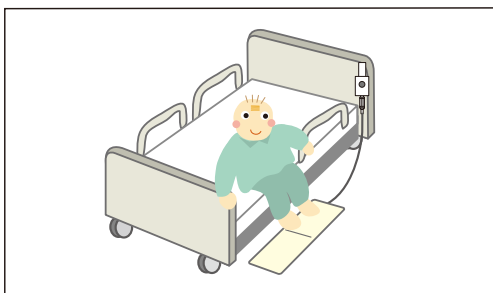


.....  
.....  
.....

対策

### case 3

ベッドセンサーを床に敷いて  
使いました。  
どんな危険がありますか？



.....  
.....  
.....

対策

### case 4

体動が多い患者にベッドセン  
サーを設置。どんなことに気  
を付けるべきですか？



.....  
.....  
.....

対策